

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月29日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL http://www.istyle.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	2,098	26.0	181	268.4	177	266.0	91	695.8
26年6月期第1四半期	1,665	12.4	49	△72.7	48	△73.1	11	△89.4

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 11百万円(△52.6%) 26年6月期第1四半期 25百万円(△77.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	6.29	6.18
26年6月期第1四半期	0.79	0.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	5,902	4,120	69.2
26年6月期	5,758	4,246	73.1

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 4,083百万円 26年6月期 4,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,359	3.1	254	△46.3	258	△43.9	110	685.7	7.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	14,903,800株	26年6月期	14,873,000株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	476,134株	26年6月期	188,234株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	14,604,051株	26年6月期1Q	14,598,315株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等に関して)

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年7月1日～平成26年9月30日)の業績は、下記のとおりです。

売上高	2,098,125千円	(前年同期比	26.0%増)
営業利益	181,686千円	(前年同期比	268.4%増)
経常利益	177,075千円	(前年同期比	266.0%増)
税金等調整前四半期純利益	176,207千円	(前年同期比	264.2%増)
四半期純利益	91,861千円	(前年同期比	695.8%増)

前連結会計年度に実施した事業譲受や、当第1四半期連結累計期間において企業買収を行ったことから、人材関連費用を中心に販売管理費が増加いたしました。しかしながら、販売管理費増以上に収益が増加したことから、利益は大きく改善いたしました。

各セグメントの業績につきましては、以下のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間より報告区分のセグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① マーケティング事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、一部のクライアントの出稿意欲に回復がみられ、バナー広告の売上が計画以上に推移いたしました。また、イベント開催や広告売上の前倒しがあり、一時的な収益増となりました。

一方で、サービスの拡大を図るため、「グロッシーボックス」を展開するビューティー・トレンド・ジャパン株式会社の全株式を取得し、平成26年8月より連結対象といたしました。現在収益は出ておりませんが、「@cosme」を始めとする既存サービスとの連携強化による収益改善を目指してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,116,771千円(前年同期比31.9%増)、セグメント利益は113,046千円(前年同期比860.8%増)となりました。

② 小売事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、EC・店舗売上共に順調に成長いたしました。店舗につきましては、前第2四半期にswitch池袋店を閉店し、同第3四半期にはプランタン銀座店の閉店とルミネ有楽町店の開店を行いました。それにより、前年同期比1店舗減となりましたが、ルミネ有楽町店が大規模店舗であることから、売上は大きく増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は835,502千円(前年同期比26.5%増)、セグメント利益は64,513千円(前年同期比48.5%増)となりました。

③ 美容事業支援事業

エステサロンの予約サイト「ispot」におきましては、前連結会計年度に実施したサービスメニューの変更により収益が低下しておりますが、その後の戦略の見直しにより徐々に改善の傾向がみられております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は145,851千円(前年同期比7.8%減)、セグメント損失は3,046千円(前年同期はセグメント損失15,318千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ143,388千円増加し5,902,039千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ148,163千円増加し3,598,991千円となりました。これは主に、現金及び預金が130,430千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,775千円減少し2,303,048千円となりました。これは主に、有形固定資産2,201千円及び無形固定資産64,030千円が増加したものの、投資その他の資産が71,006千円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ269,214千円増加し1,781,459千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ22,745千円増加し1,173,475千円となりました。これは主に、買掛金が96,693千円増加したものの、未払法人税等が66,521千円減少したこと、賞与引当金が13,753千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ246,468千円増加し607,984千円となりました。これは主に、銀行借入れを行ったため長期借入金が268,129千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ125,826千円減少し4,120,579千円となりました。

これは主に、利益剰余金が91,861千円増加したものの、自己株式を142,655千円取得したこと、その他有価証券評価差額金が77,187千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年7月29日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,950,540	2,080,970
受取手形及び売掛金	1,153,737	1,079,663
商品	234,125	270,313
その他	120,548	175,069
貸倒引当金	△8,124	△7,026
流動資産合計	3,450,827	3,598,991
固定資産		
有形固定資産	337,131	339,332
無形固定資産		
のれん	49,368	79,074
ソフトウェア	631,390	670,052
その他	60,947	56,608
無形固定資産合計	741,705	805,736
投資その他の資産		
投資有価証券	939,795	848,199
その他	289,191	309,779
投資その他の資産合計	1,228,986	1,157,979
固定資産合計	2,307,824	2,303,048
資産合計	5,758,651	5,902,039
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,040	362,733
1年内返済予定の長期借入金	211,984	168,935
未払法人税等	136,559	70,038
賞与引当金	47,300	33,546
その他	488,846	538,222
流動負債合計	1,150,730	1,173,475
固定負債		
長期借入金	329,332	597,461
その他	32,183	10,523
固定負債合計	361,515	607,984
負債合計	1,512,245	1,781,459

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,578,002	1,579,074
資本剰余金	1,514,942	1,515,998
利益剰余金	897,913	989,774
自己株式	△37,660	△180,316
株主資本合計	3,953,197	3,904,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,735	139,547
為替換算調整勘定	42,052	39,268
その他の包括利益累計額合計	258,787	178,815
新株予約権	10,312	13,066
少数株主持分	24,108	24,166
純資産合計	4,246,406	4,120,579
負債純資産合計	5,758,651	5,902,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,665,220	2,098,125
売上原価	610,393	848,618
売上総利益	1,054,827	1,249,506
販売費及び一般管理費	1,005,508	1,067,820
営業利益	49,318	181,686
営業外収益		
受取利息	297	912
受取手数料	746	—
その他	969	2,032
営業外収益合計	2,013	2,944
営業外費用		
支払利息	800	1,092
為替差損	2,120	3,769
投資有価証券評価損	—	1,665
その他	30	1,028
営業外費用合計	2,951	7,556
経常利益	48,380	177,075
特別損失		
事務所移転費用	—	868
特別損失合計	—	868
税金等調整前四半期純利益	48,380	176,207
法人税等	37,827	84,287
少数株主損益調整前四半期純利益	10,553	91,919
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△989	58
四半期純利益	11,542	91,861

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,553	91,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△77,187
為替換算調整勘定	14,677	△2,784
その他の包括利益合計	14,677	△79,971
四半期包括利益	25,231	11,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,220	11,889
少数株主に係る四半期包括利益	△989	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、平成26年8月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が142,655千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が180,316千円となっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 (千円)
	マーケティング 事業(千円)	小売事業 (千円)	美容事業支援 事業(千円)	合計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	846,467	660,490	158,263	1,665,220	—	1,665,220
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	202	202	△202	—
計	846,467	660,490	158,465	1,665,423	△202	1,665,220
セグメント利益又は損失 (△)	11,765	43,446	△15,318	39,894	9,424	49,318

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額9,424千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 (千円)
	マーケティング 事業(千円)	小売事業 (千円)	美容事業支援 事業(千円)	合計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,116,771	835,502	145,851	2,098,125	—	2,098,125
セグメント間の 内部売上高又は振替高	650	—	471	1,121	△1,121	—
計	1,117,421	835,502	146,322	2,099,246	△1,121	2,098,125
セグメント利益又は損失 (△)	113,046	64,513	△3,046	174,513	7,173	181,686

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額7,173千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、当第1四半期連結会計期間から報告セグメントを従来の「メディア事業」、「EC事業」、「店舗事業」及び「その他事業」の4区分から、「マーケティング事業」、「小売事業」及び「美容事業支援事業」の3区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成した情報につきましては、「前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)」の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。